

富山経済同友会

会報

2022.11月
No.310



第6回教育問題委員会（津軽藩ねぶた村）（9月29日）

CONTENTS

- 10月会員定例会 2
- 第30回経済同友会中央日本地区会議 2
- 第11回地域創生委員会 3
- 第2回委員長連絡会議 3
- 交流委員会（第2回、第3回） 4
- 第1回企画委員会 4
- ごきげんよう職場訪問（企業経営委員会）... 5
- 第7回文化スポーツ委員会（黒部ダム等視察）... 6
- 副業兼業人材活用セミナー（人財活躍委員会）... 7
- スケッチオーデション（人財活躍委員会）... 8
- 第6回教育問題委員会（青森・大阪視察）...10
- 地域創生委員会（第12回、第13回：フィールドワーク）...12
- 第9回企業経営委員会16
- トピックス（フィールドワーク冊子、大学で活用）...16
- 第83回あけぼの会ゴルフコンペ17
- 「同友会の日」カタレ富山戦17
- 課外授業講師派遣18
- 教育講演会等講師派遣20
- **リレーエッセイ⑩（森 弘吉 氏）.....21**
- 活動報告22
- 会員の入退会24
- トピックス（富山大学データサイエンス寄附講座）...26
- 慶事のお知らせ27
- 今後の予定27
- 事務所からのお知らせ27
- わが青春の1枚（川合 声一 氏）28



私の「モノづくり」の原点とこれから

森 弘 吉

(株式会社エムダイヤ 代表取締役)

私は1975年に富山県上市町で生まれました。私が3歳の時に脱サラをした父は、機械修理業を主体とした、鉄工所を創業しました。

父の工場は、自宅の敷地内にありましたので、幼いころの遊び場の一つでした。鋼材や様々な工具があり、それを見たり触ったりするのが楽しかったことを覚えています。

物心がついた頃には、自分専用の工具箱を持っていて、色々な物を分解し、構造を確かめる事が大好きでした。買ってもらった玩具は、中身を解体して楽しみました。しかし、元に戻せず壊すため、両親に怒られた事が良い思い出になっています。

そんな私を見ていた父は、私が6歳のある日、「この車（セダン）は、廃車にするから、好きに解体していいぞ」と言い出しました。自身の工具箱の道具を使って、解体に取り掛かると、ドアの横についたスピーカーが紙製だった事や、電球の取り付け方や、配線が分かるなど、様々な発見をすることが出来ました。

新卒で、石川県の大手工作機械メーカーへ就職しました。会社では、電気設計や機械開発、IT分野まで様々な経験をさせていただきました。

石川県で就職して5年が経過した頃、父の会社が立ち行かなくなりました。父は根っからの職人でしたので、経営は不得手でした。私は、父と二次創業という形で会社を作ろうと、6年半お世話になった会社に退職の意思を伝えました。

富山に戻り、父が経営していた時に開発した、環境機械の技術や製品をさらに発展させて社会に貢献したいと思い、二次創業しました。いざ会社経営となれば、多くの衝突があり、大変険しい道のりでした。職人氣質で、発明家のような父の技術力は尊敬していましたが、経営や

事業に関する考え方は、相容れないものがありました。最終的には、父とは袂を分かつ事となりました。また、父に賛同していた年配社員も次々に去って行きました。

私自身も様々な「学び」と「経験」を通じて、「職人」から「商人」へと変化せざるを得ない状況となって行きました。

今となっては、父も良き理解者となって応援してくれています。社長になって15年。様々な困難を乗り越えて会社は大きく変化しました。

現在、北は北海道から南は鹿児島まで、日本全国そして海外にも製品を納品しています。2022年の今年は、公的機関である名古屋中小企業投資育成（株）からの出資を受ける形で、財務基盤の強化と信用力向上を進めました。また、環境機械の製造・販売における「モノづくり」のみならず、新工場（立山工場）を建設し、リサイクル業やリサイクル仲介業といった、「コトづくり」事業拠点を立ち上げ中です。

さて、私が楽しいと思う事は、仕事を通じた「気づき」や「学び」であり、異質に触れる事には、常にワクワクします。

コロナ以前は全国を駆け回り、2ヶ月に1度は仕事で海外に行っていました。様々な経験は、自分を大きく成長させてくれます。今年に入ってから、ようやく海外にも行けるようになって来ました。

想定外な事や異質に触れる事、様々な「経験」を通して、自己成長に繋がりたいと思います。

これからも-「もったいない！」をカタチに[®]-を合言葉に、環境事業を通じて、社員と共に成長・発展出来る会社を目指します。

(次号は(株)タムラ設計、代表取締役の
田村元宏 様です。)